

### 3. 新たな道路行政マネジメントについて

---

平成15年3月28日  
国土交通省 道路局

# 新たな行政マネジメントのあり方(再掲) ～ 成果に基づく行政マネジメント～

## 成果に基づく行政マネジメントに必要な4つの要素(再掲)

- 1 . 成果によるマネジメントのための枠組み
  - ・ ミッションの設定及びそれに基づく政策目標の策定
  - ・ アウトカム指標の選定及び目標値の設定
- 2 . 目標管理型の組織体系
  - ・ 目標による実施部局の管理
  - ・ 評価担当部局による業績の評価
- 3 . 内部マネジメント改革
  - ・ 成果重視の行政プロセスを構築
  - ・ 必要なデータの取得
  - ・ 執行過程におけるマネジメントの浸透
- 4 . 外部マネジメント改革
  - ・ アウトカム指標を用いた目標及び業績の公表
  - ・ 意志決定過程への関係者の参加

## 1. 成果によるマネジメントのための枠組み

### ミッションの設定及びそれに基づく政策目標の設定

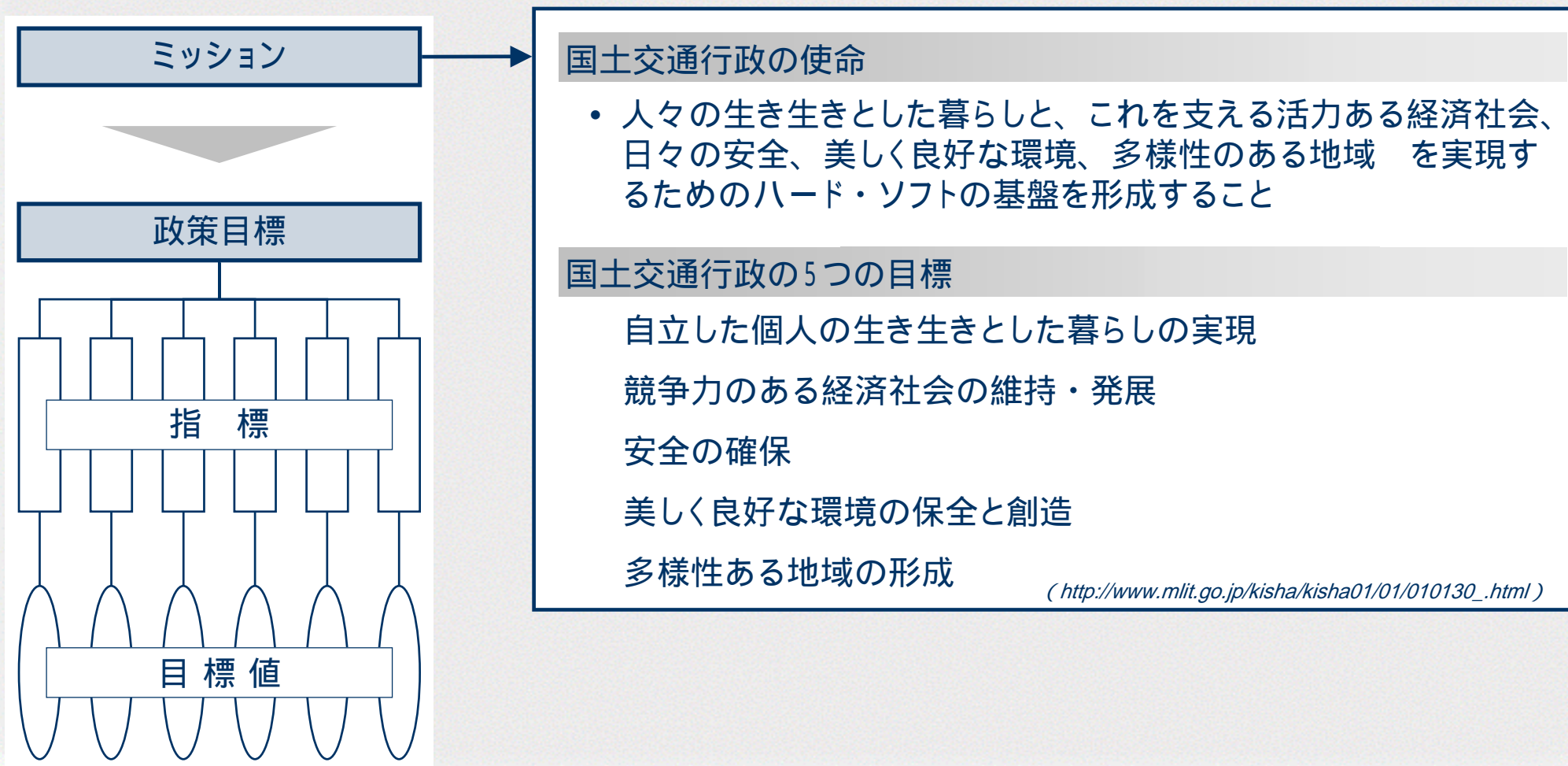
- 「国土交通省の使命、目標、仕事の進め方」(H13.1月発表)及び「国土交通省政策評価基本計画」における政策目標に基づくマネジメントを推進。

### アウトカム指標の選定及び目標値の設定

- 道路行政では、平成15年度からアウトカム指標を導入し、これに基づく行政マネジメントを推進すべく準備中。

# 成果によるマネジメントのための枠組み 国土交通省のミッション・政策目標

- 国土交通省では、平成13年1月に「**国土交通省の使命、目標、仕事の進め方**」を策定



## 現行の政策目標・業績指標

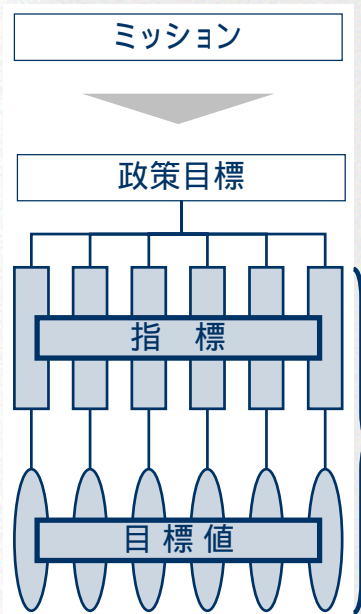
- 国土交通省では、業績測定（政策チェックアップ）を行うために、平成14年4月に策定した「**国土交通省政策評価基本計画**」において、**27の政策目標と113の業績指標**を設定している（うち、道路行政に関わるものについて以下に抜粋）

| 政策目標                | 業績指標                           | 現況(時点)        | 目標(目標年次)      |
|---------------------|--------------------------------|---------------|---------------|
| 暮らし                 |                                |               |               |
| 2 バリアフリー社会の実現       | 5 バリアフリー歩行空間ネットワーク整備地区割合       | 1割(H12)       | 2割(H14)       |
| 5 住環境、都市生活の質の向上     | 22 電線類地中化延長                    | 4,600km(H12)  | 6,400km(H15)  |
| 7 都市内渋滞の緩和          | 27 主要渋滞ポイント解消数                 | 600箇所(H12)    | 1,000箇所(H14)  |
|                     | 28 朝夕の三大都市圏人口集中地区の自動車走行速度      | 21km/h(H11)   | 22km/h(H14)   |
| 8 アメニティ豊かな生活環境の形成   | 32 都市内道路緑化率                    | 48%(H12)      | 51%(H14)      |
| 経済社会                |                                |               |               |
| 11 広域的モビリティの確保      | 39 高規格幹線道路の面積カバー率              | 74%(H12)      | 80%(H14)      |
| 13 物流の効率化           | 47 主要な空港・港湾への連絡率               | 36%(H12)      | 44%(H14)      |
| 安全                  |                                |               |               |
| 18 災害による被害の軽減       | 73 緊急輸送道路上の橋脚の耐震補強率            | 8割(H12)       | 9割(H14)       |
| 19 交通安全の確保          | 80 幹線道路に係る事故多発地点対策箇所数          | 2,700(H12)    | 3,200(H14)    |
| 環境                  |                                |               |               |
| 23 大気、騒音等に係る生活環境の改善 | 94 夜間騒音要請限度達成率                 | 61%(H11)      | 65%(H14)      |
| 共通の政策課題             |                                |               |               |
| 26 IT革命の推進          | 110 ETC利用可能料金所整備率              | 11%(H13)      | 69%(H14)      |
|                     | 111 公共施設管理用光ファイバ等収容空間ネットワークの延長 | 24,430km(H12) | 27,250km(H14) |

成果によるマネジメントを支援する政策評価制度の確立

# 道路行政のマネジメントに用いるアウトカム指標案

■ 道路行政では、平成15年度からアウトカム(成果)指標を導入し、これに基づく行政マネジメントを推進すべく準備中。



| 指標                     |                          | 現況値(H14)    | 目標値(H19)                   |         |
|------------------------|--------------------------|-------------|----------------------------|---------|
| 1. 活力 ~経済活力の回復と地域づくり~  |                          |             |                            |         |
| 1                      | 渋滞による損失時間                | 38.1億人時間/年  | 33.1億人時間/年                 |         |
|                        | 渋滞による損失金額                | 11.6兆円/年    | 10.0兆円/年                   |         |
| 2                      | 路上工事時間                   | 275時間/千台    | 2割削減                       |         |
| 3                      | 都市計画道路が整備された市街地に居住する人口比率 | 61%         | 65%                        |         |
| 4                      | 自動車専用道路交通分担率             | 13%         | 15%                        |         |
| 5                      | 日常活動圏交流ルート確保率            | 66%         | 68%                        |         |
| 6                      | 日常活動圏中心都市への安定到達率         | 61%         | 66%                        |         |
| 7                      | ETC利用率                   | 2.9%        | 50%                        |         |
| 2. 暮らし ~生活の質の向上~       |                          |             |                            |         |
| 8                      | バリアフリー化率                 | 17%         | 53%                        |         |
| 9                      | 無電柱化率(幹線道路)              | 8%          | 13%                        |         |
| 3. 安全 ~安全で安心できる暮らしの確保~ |                          |             |                            |         |
| 10                     | 交通事故死者率                  | 1.13人/億台千0年 | 1.04人/億台千0年                |         |
|                        | 死傷事故率                    | 122件/億台千0年  | 118件/億台千0年                 |         |
| 11                     | 災害時救援ルート確保率              | 69%         | 80%                        |         |
| 12                     | 構造物保全率                   | 81%         | 92%                        |         |
| 13                     | 機能維持指数                   | 84%         | 概ね現状水準を維持                  |         |
| 4. 環境 ~環境の保全・創造~       |                          |             |                            |         |
| 14                     | NO <sub>2</sub> 環境目標達成率  | 51%         | 76%                        |         |
|                        | SPM環境目標達成率               | 0%          | 62%                        |         |
| 15                     | 夜間騒音要請限度達成率              | 66%         | 73%                        |         |
| 16                     | 自動車CO <sub>2</sub> 排出削減量 | -           | 3,200万t-CO <sub>2</sub> /年 |         |
| 道路行政の改革(アカウンタビリティの向上)  |                          |             |                            |         |
| 17                     | 利用者満足度                   | 2.6点        | 3.0点                       |         |
| 18                     | 情報公開度                    | ホームページアクセス数 | 858万Hit/年                  | 1億Hit/年 |
|                        |                          | 道路IRサイト評点   | 33点                        | 40点     |

## 《指標の定義の例》

### ■ 渋滞

#### ■ 渋滞損失時間

- 渋滞がない場合の所要時間と実際の所要時間の差

#### ■ 渋滞損失金額

- 上記の費用換算値

### ■ 交通事故

#### ■ 死者率

- 1台の車が1億km走る間に交通事故で死亡させしめる人数

#### ■ 死傷事故率

- 1台の車が1億km走る間に起こしてしまう死傷事故の件数

主要なアウトカム指標(目標値等を含む)は現時点のものであり、今後の変更があり得る

## 2. 目標管理型の組織体系

### 目標による実施部局の管理

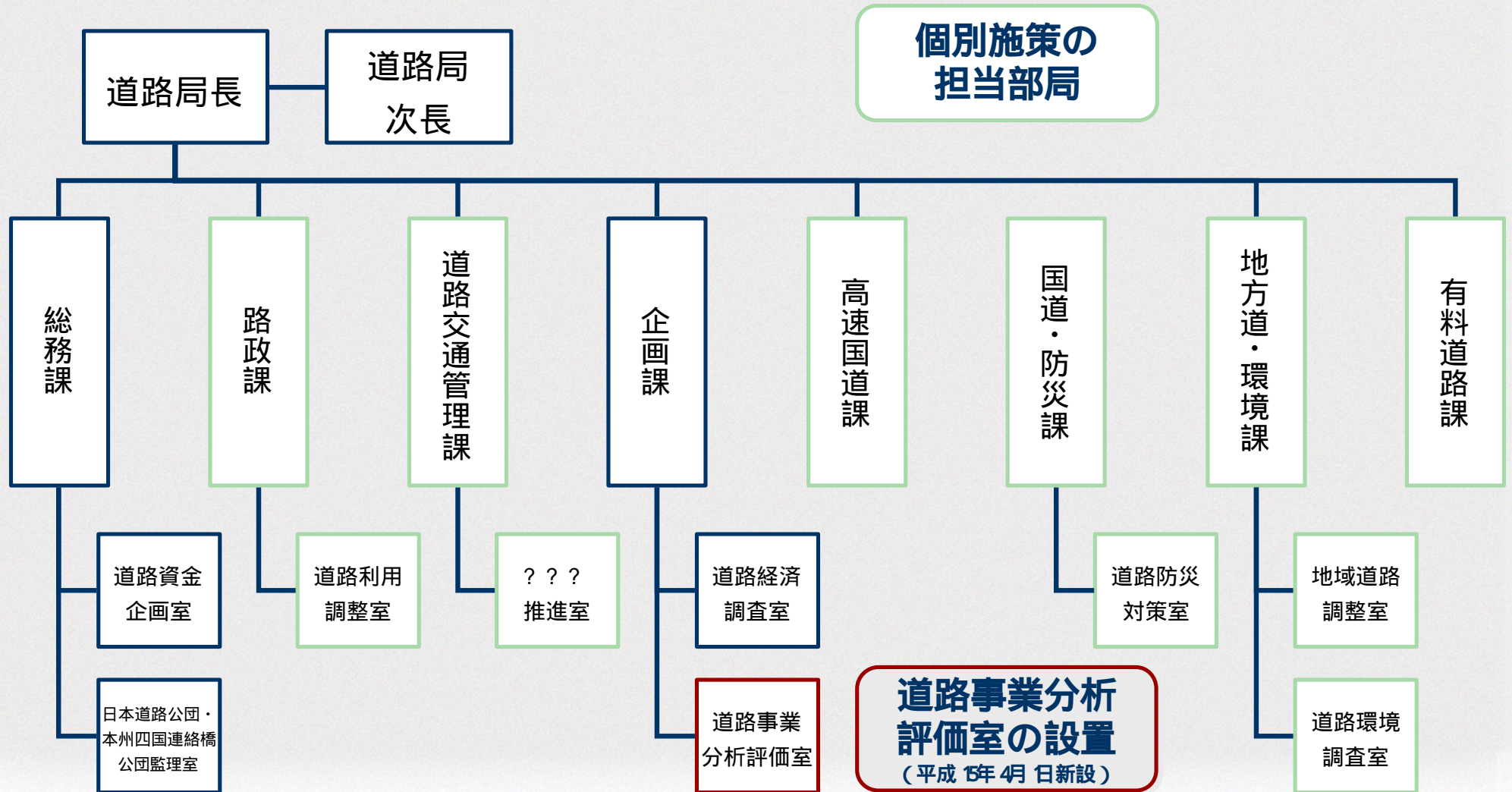
- 政策目標ごとの責任部局を設定。

### 評価担当部局による業績の評価

- 道路事業分析評価室を設置し、業績の評価及び分析を実施。

# 道路事業分析評価室の設置

道路局の組織体系 (平成15年4月以降)





## 3. 内部マネジメント改革

### 成果重視の行政プロセスを構築

- アウトカム指標を用いた「成果に基づく行政マネジメントシステム」を構築し、「年次計画書<sub>(仮称)</sub>」、及び「業績報告書<sub>(仮称)</sub>」を策定

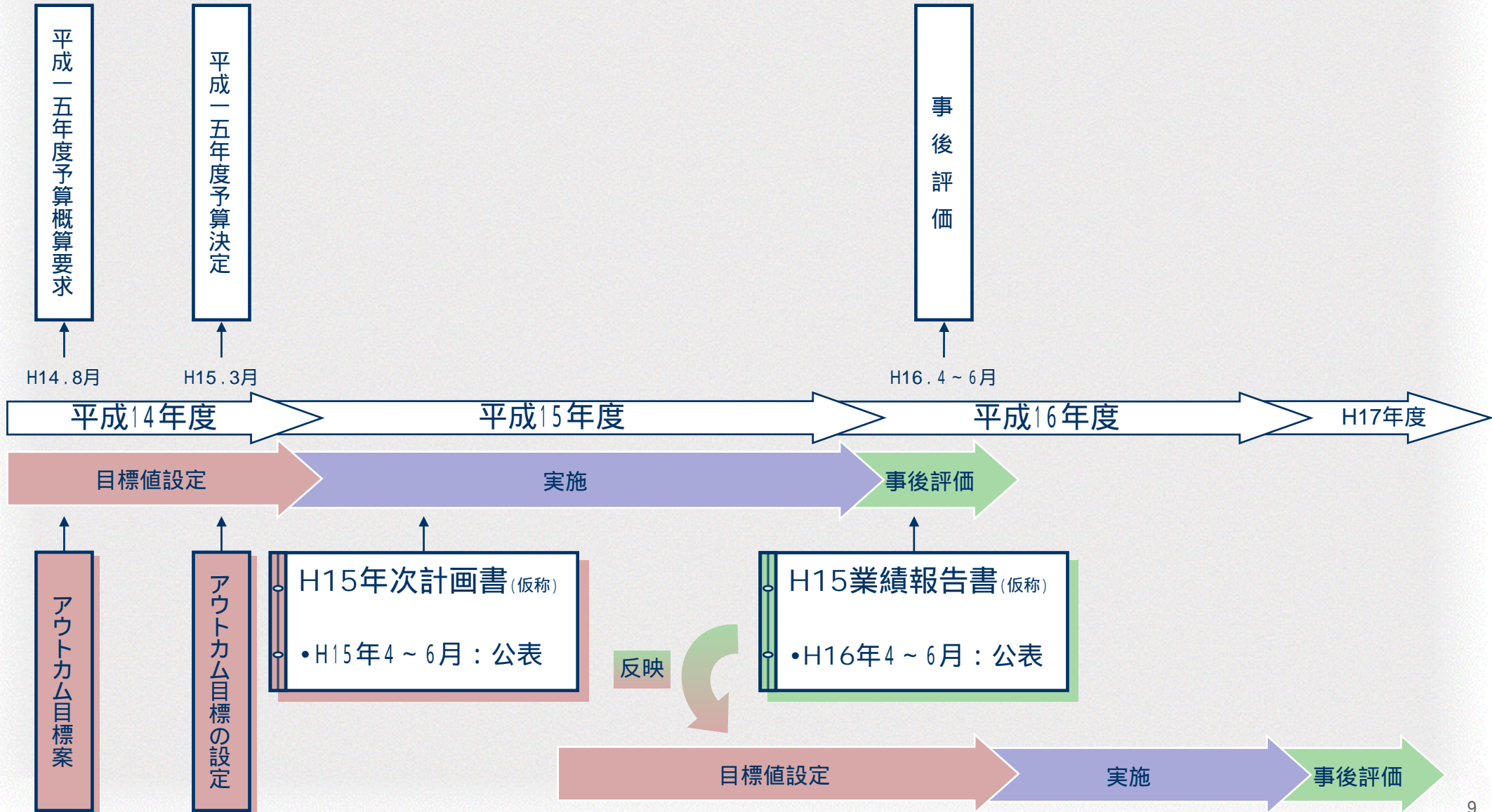
### 必要なデータの取得

- 現況値及び業績の測定に必要なデータを効率的に取得する体制を確立。

### 執行過程におけるマネジメントの浸透

- 現場事務所に至るまでの予算執行過程の各レベルで、成果に基づく行政マネジメントを実践。

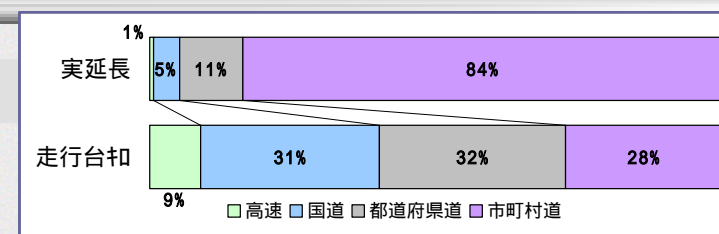
# 成果重視の行政プロセスを構築 ~平成15年度を例に~



## 必要なデータの取得

### 従来のデータ取得方法

- **道路統計年報**：毎年度作成
  - 道路種別ごとの延長等が中心
- **道路交通センサス**（道路交通情勢調査）：原則として5年ごとに実施（平日1日、休日1日）
  - 交通量調査・旅行速度調査
  - OD調査 等



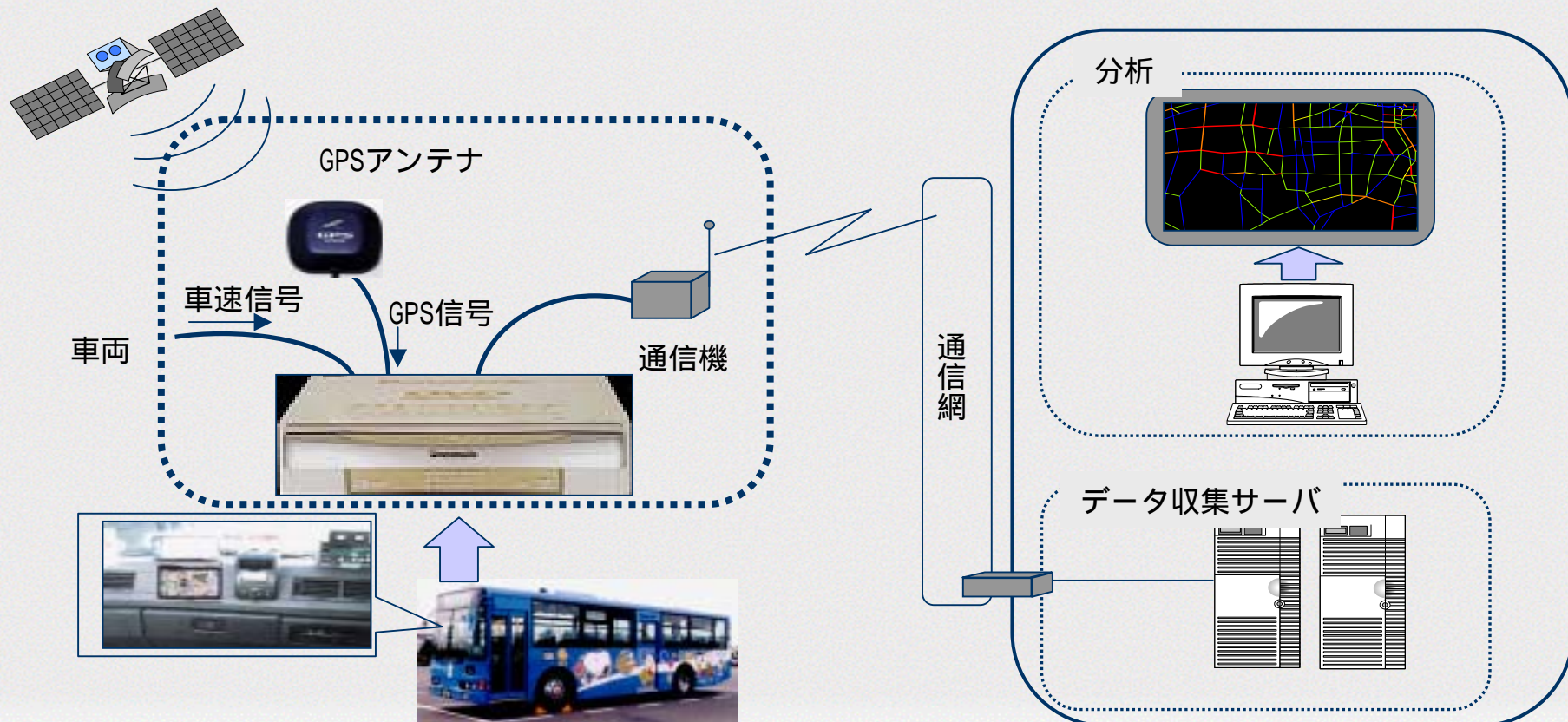
高速道路、国道、都道府県道が対象

### ITを活用し、アウトカムを重視したデータの取得

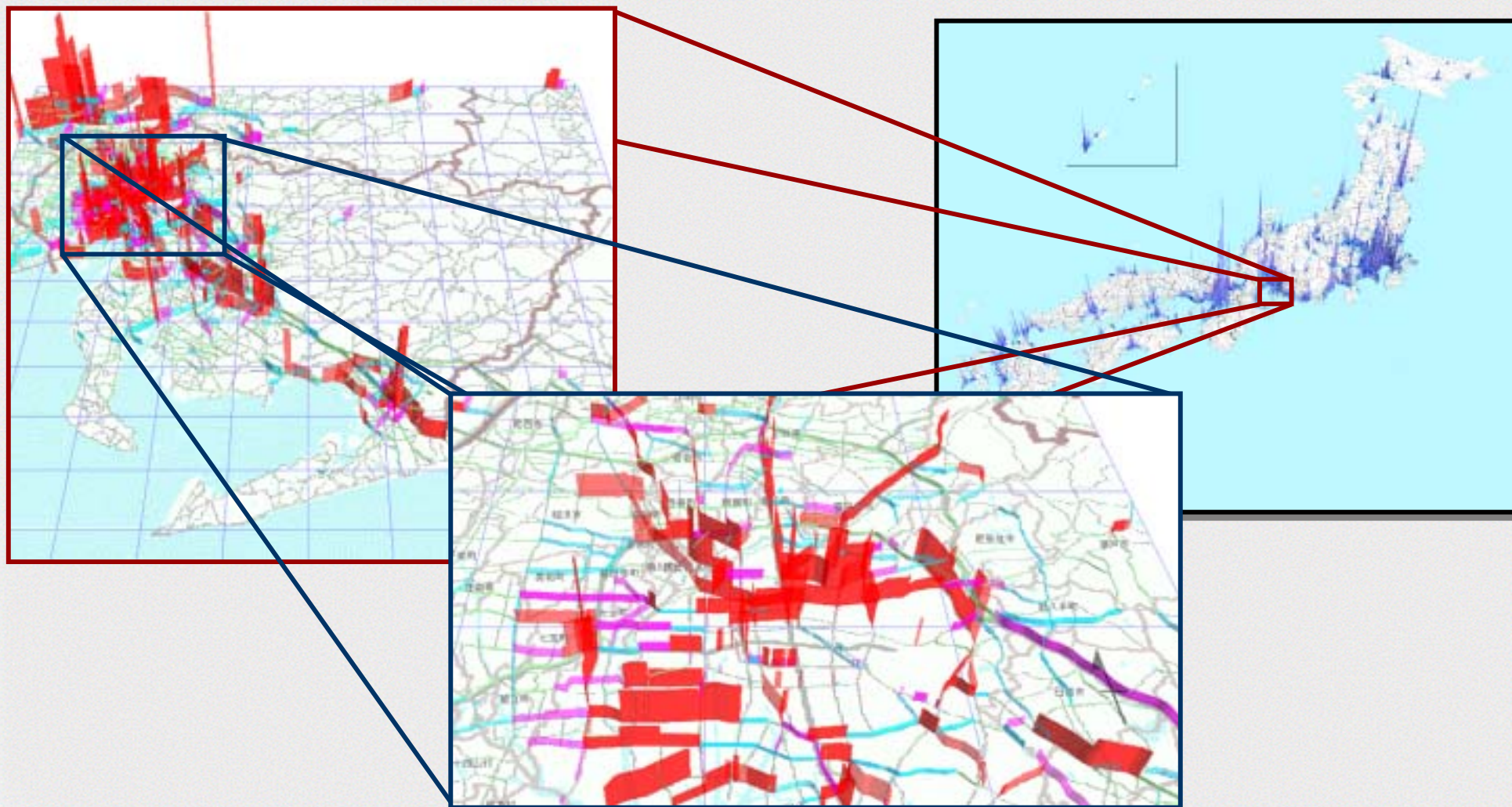
- **交通量データ**
  - 常時観測局（トラフィック・カウンター）：高速道路及び幹線国道のかなりの区間をカバー
- **旅行速度データ**
  - 常時観測局（トラフィック・カウンター）：高速道路については概ね設置済
  - 「プローブカー」の活用：バス路線等について順次導入中
- **交通事故データ**
  - 交通事故統合データベース：警察庁と協力し、平成7年以降の交通事故データを整理
- その他
  - 利用者満足度調査の実施：インターネットを通じ、毎年度調査実施予定

## <参考>「プローブカー調査」の概要

- ・ リアルタイムで路線別の走行速度データを取得
- ・ 毎日のリアルタイムデータを平休日別、車種別・方向別等に集計することにより、アウトカム指標の算出、事業評価などへの適用が可能



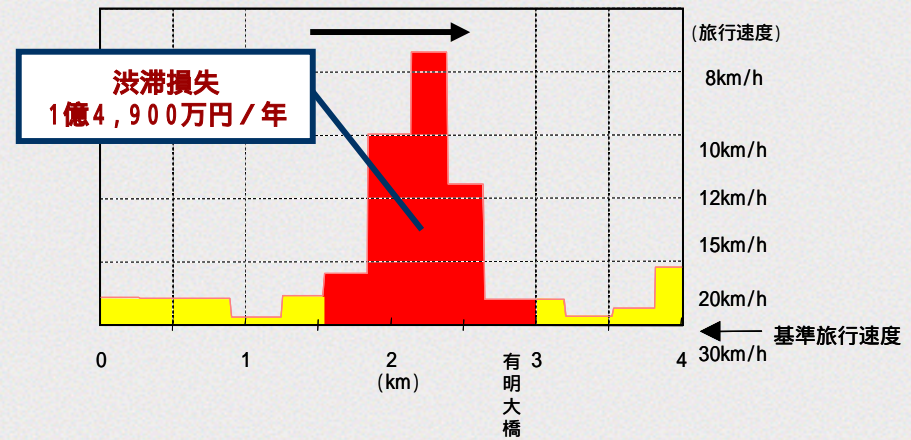
## 取得したデータの例 ～ 渋滞損失額を例に～



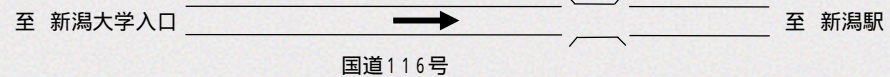
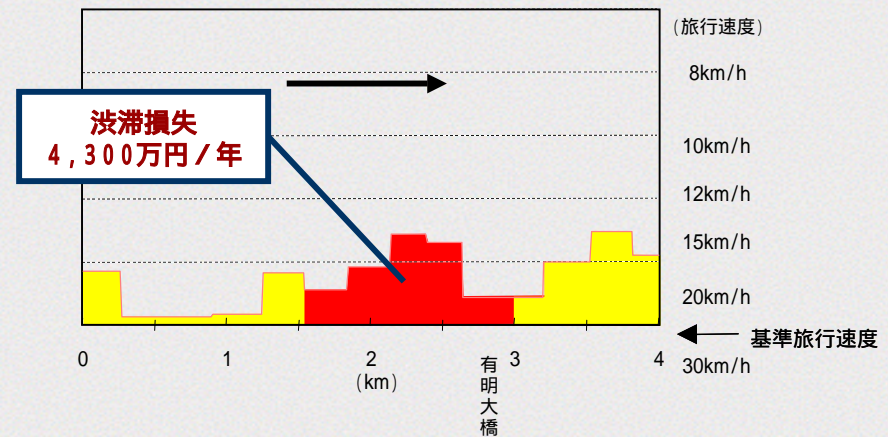
平成13年10月現在のプローブカー調査及び平成11年度実施の道路交通センサスに基づく

# 執行過程におけるマネジメントの浸透 ~ 渋滞データを用いた事業の効果の分析 ~

事業前

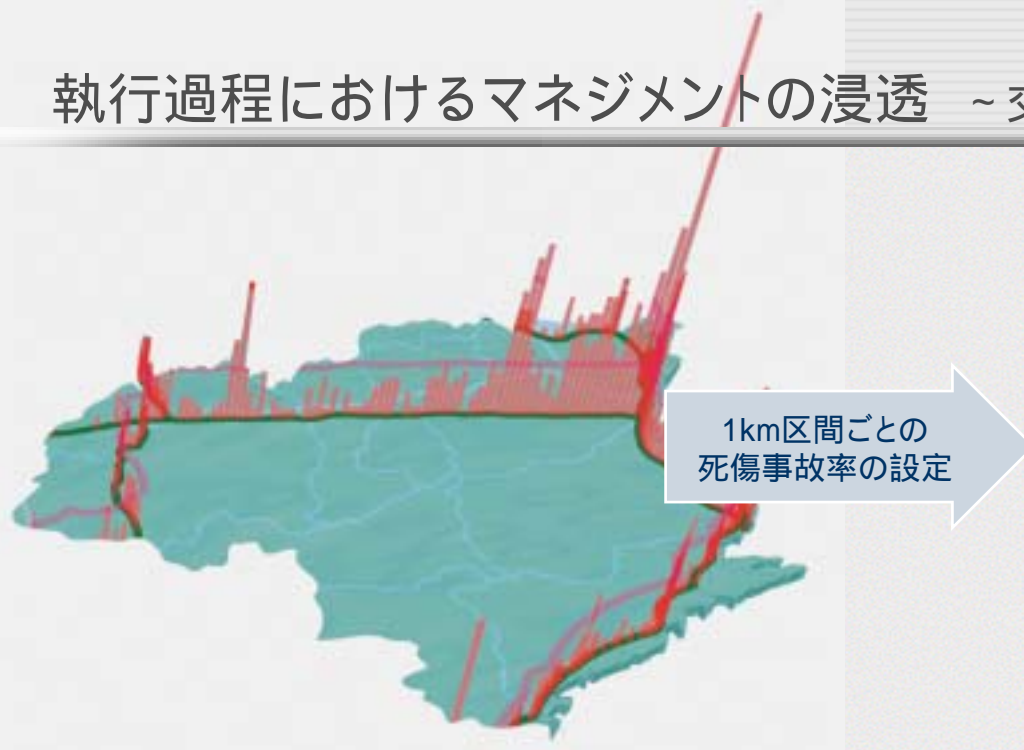


事業後



新潟市有明大橋東詰交差点改良事業(平成13年度供用)の事後評価より抜粋

# 執行過程におけるマネジメントの浸透 ~ 交通事故データを用いた計画策定 ~



| 路線名 | 区間番号 | 距離標   |           | 事故件数<br>H13 | 事故率<br>(件/億台キロ) |
|-----|------|-------|-----------|-------------|-----------------|
| 192 | 137  | 137.0 | ~ 137.369 | 12          | 540.34          |
| 192 | 136  | 136.0 | ~ 137.0   | 69          | 474.82          |
| 192 | 118  | 118.0 | ~ 119.0   | 28          | 392.82          |
| 192 | 117  | 117.0 | ~ 118.0   | 27          | 360.12          |
| 55  | 22   | 22.0  | ~ 23.0    | 23          | 347.30          |
| 192 | 135  | 135.0 | ~ 136.0   | 49          | 324.30          |
| 192 | 130  | 130.0 | ~ 131.0   | 33          | 317.90          |
| 192 | 133  | 133.0 | ~ 134.0   | 51          | 262.02          |
| 11  | 0    | 0.0   | ~ 1.0     | 64          | 239.27          |
| 192 | 126  | 126.0 | ~ 127.0   | 22          | 211.94          |
| 192 | 134  | 134.0 | ~ 135.0   | 41          | 210.65          |
| 55  | 0    | 0.0   | ~ 1.0     | 50          | 189.95          |
| 192 | 127  | 127.0 | ~ 128.0   | 17          | 163.77          |
| 11  | 1    | 1.0   | ~ 2.0     | 37          | 162.33          |
| 55  | 47   | 47.0  | ~ 48.0    | 5           | 159.23          |
| 55  | 12   | 12.0  | ~ 13.0    | 11          | 117.81          |
| 55  | 7    | 7.0   | ~ 8.0     | 21          | 117.39          |
| 55  | 23   | 23.0  | ~ 24.0    | 8           | 102.10          |
| 55  | 2    | 2.0   | ~ 3.0     | 25          | 100.36          |
| 32  | 78   | 78.0  | ~ 79.0    | 1           | 54.89           |
| 11  | 2    | 2.0   | ~ 3.0     | 10          | 32.96           |

本資料における数値等はイメージであり、実際の区間、箇所を示すものではない

## 4. 外部マネジメント改革

### アウトカム指標を用いた目標及び業績の公表

- 「年次計画書(仮称)」「業績報告書(仮称)」について、策定と同時に公表  
(道路行政評価サイト「道路IRサイト」の活用)
- インターネット等を通じ、国民の意見を募り、可能なものについては反映

### 意志決定過程への関係者の参加

- 新たな道路行政マネジメントへの市民参画の方法について検討
- 毎年度、「道路利用者満足度調査」を実施し、調査結果を施策・事業に反映



# アウトカム指標を用いた目標及び業績の公表 ～「道路IRサイト」の紹介～

**道路IRサイト** (道路行政評価サイト) : 平成13年10月より開設  
<http://www.mlit.go.jp/road/ir/>

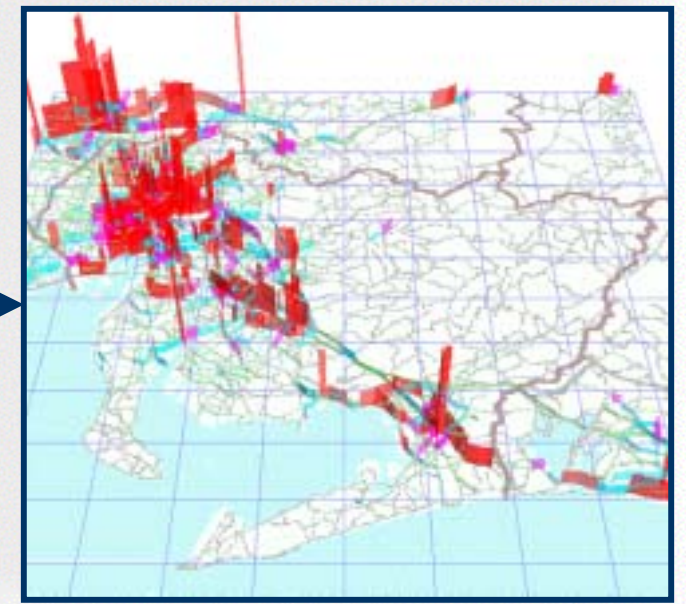
The screenshot shows the Road IR Site interface with several callout boxes pointing to specific sections:

- 事業・政策の評価結果を公開** (Public disclosure of project and policy evaluation results)
- 関連公団の財務状況等の公開** (Public disclosure of financial status of related public corporations)
- 事業評価の基礎データの公開** (Public disclosure of basic data for project evaluation)
- 入札・契約情報の公開** (Public disclosure of bidding and contract information)

Other visible elements include: 道路IRサイト (Road IR Site), 道路行政評価 (Road Administration Evaluation), 道路IRサイト検索 (Road IR Site Search), and a table of regional offices.



地方整備局・国道事務所ごとにも  
IRサイトを開設



## 意志決定過程への関係者の参加 ~ 「道路利用者満足度調査」の実施 ~

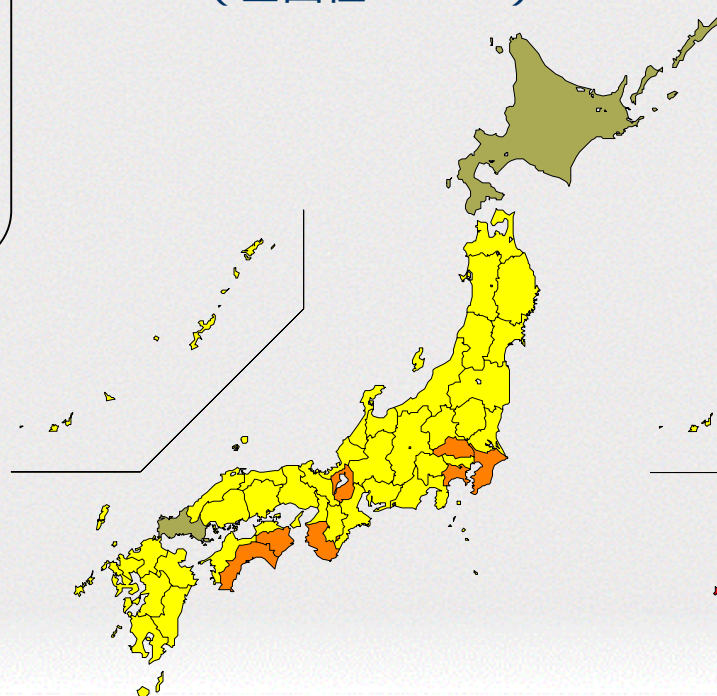
## 「顧客満足度 (Customer Satisfaction: CS)」



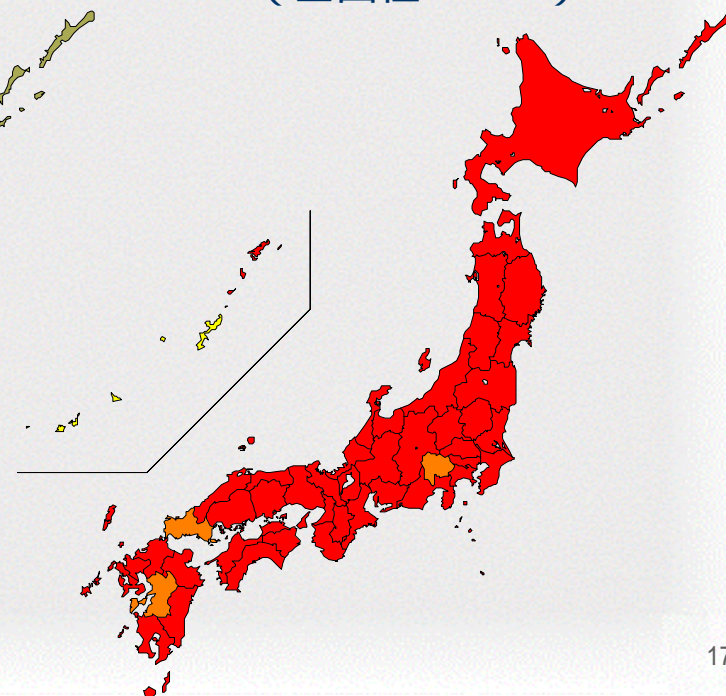
道路行政においてもこの考え方を取り入れ、各種道路サービスに対し、顧客である道路利用者の満足度を5段階評価で表した「利用者満足度」を把握するための調査を平成14年度より実施

時 期：平成14年6月20日～7月21日  
 回答数：約3万4千人  
 利用者満足度調査のテーマ  
 道路全般に対する満足度  
 道路種別ごとの満足度  
 渋滞、交通安全などの施策別の満足度  
 道路行政に対する満足度

よく使う道路全般についての満足度  
 (全国値：2.6)



有料道路料金についての満足度  
 (全国値：1.7)



基本的に、5点(非常に満足)～

1点(非常に不満)までの5段階評価